

公共交通を考えるワークショップ

第3回

この地域のくらしの足を
どうしたらよいか？

みんなで考える
ワークショップ

引田・代継・網代区域

《網代》

日時：平成30年11月23日（金・祝）

午後7時～午後9時（予定）

場所：網代会館



ワークショップの実施にあたって

1) ワークショップの進め方

第1回（9月24日（月・祝））・・・開催済み
「ワークショップの目的と地域の現状を知ろう」

第2回（10月6日（土））・・・開催済み
「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

第3回（本日）
「地域に必要な交通がどのようなものかを考えよう」

⇒あるべき姿を踏まえて、さらに具体的に考えます。

地区にお住まいの方（抽出）に
アンケート調査を実施予定

第4回（平成31年1月19日（土）午後7時～）
「地域の交通手段を考えよう」

⇒ワークショップの結果を、地域の案としてまとめます。

ワークショップの実施にあたって

2) 本日のワークショップで行いたいこと

第2回ワークショップまでのふりかえり

- この地区の第2回ワークショップまでのふりかえり
- (参考) ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

この地区の交通サービスの方向性(素案)の確認

グループワーク

- それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット(良い面と悪い面)がありますか?



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- たくさんの意見・アイデアが大事です。正解はありません。思い切って自分の思いをお話ください。
- 考え方は人それぞれです。自由な意見交換ができる雰囲気づくりを心がけましょう。
(最初から意見を否定・非難しない。人の話をさえぎらないなど)
- みなさんがたくさんの意見を出せるよう、1人のお話が長くなり過ぎないよう心がけましょう。

ご協力お願いします！！



ワークショップの実施にあたって

3) ワークショップでの“約束”

- 会議ではいろいろな意見が出るとは思いますが、
「最後はまとめる」ことを心がけましょう。
- せっかくの機会なので、楽しく、前向きな意見交換をしましょう。（文句ではなく、リラックスして話しましょう。）

ご協力お願いします！！



第2回ワークショップまでのふりかえり

第1回ワークショップで出たご意見 「地域の現状を知ろう」

■ 外出の目的と目的地

- 通勤、通院、買物が主な目的。
- 外出先はいずれも市内各地、近隣市町などが主。

■ 交通手段

- 市内や近隣市町への外出は自家用車利用が大半だが、家族に送迎を頼む人も多い。通勤等では武蔵増戸駅まで徒歩、自転車、家族の送迎などを利用。

■ 外出で困っていること（主なもの）

- 将来的に車に乗れなくなった時に、交通手段がない。
- 鉄道駅やバス停が遠く、電車、バスとも本数が少なく不便。
- 高低差があり、外出が大変。
- 道路が狭い。雪が降ると坂道が凍結するので危険。
- 駅周辺の駐車場を利用すると、駐車料金がばかにならない。
- タクシーは不便（運賃が高い、呼ぶのに時間がかかる、利用できないことも）。

第2回ワークショップまでのふりかえり

第2回ワークショップで出たご意見「地域の交通のあるべき姿を考えよう」

- 【1つ目のグループワーク】この地区の交通に、どのような機能や役割が必要か？
- 【2つ目のグループワーク】そのうち、特に優先的に必要なものは何か？



この地区に優先的に必要なもの（テーブルごとの意見を集約）

分類	優先的に必要なもの
利用したいときに利用できる。 タクシー割引	• <u>タクシー利用補助</u> （利用券の配布）。 （タクシー会社は、安全・安心）
近所同士による 相乗り、乗合タクシー	• 出来れば <u>市から自治会へ車両を貸与</u> 。 • <u>行政と地域で費用分担</u> （タクシーは高額になる） • 利用したいときに利用できるようなある程度の台数を確保。
自治会への電動 自転車貸与	• 行政が <u>自治会へ電動自転車を貸与</u> し、自治会会員で相互利用する。
その他	• 行き先：武蔵増戸駅 • 手 段：小型バス • 大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。

第2回ワークショップまでのふりかえり

(参考) ほかの地区における第2回ワークショップまでの意見の概要

別紙「各区域における第2回までの検討結果概要」参照



この地区の交通サービスの方向性(素案)の確認

- 「目的」
- 「交通サービス」の候補(メニュー)は、
お考えやイメージと、大きなずれはないでしょうか？



〔「交通サービス」の具体的な内容については、次のグループワークで！〕



この地区の交通サービスの方向性（素案）

1. この地区の交通サービスの目的

高低差や狭い道幅に配慮した交通を確保する。

この目的でOK?

2. 主な利用者の想定

- （将来的に）免許返納をした方
- 自分で車を運転できない方※

※なお、この「自分で車を運転できない方」には、運転免許を持っていないなど継続的に車を運転できない方と、病気やケガなど、若い人でも一時的に車を運転できなくなかった方を含むととらえていますが、よろしいでしょうか？



3. 導入を検討したい交通サービス（候補）

分類	サービス内容	備考
1) <u>タクシー代の補助</u>	<ul style="list-style-type: none"> • タクシー代を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 利用券の配布。
2) <u>住民主体の交通（近所同士の相乗り）</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 住民の自主運行による交通手段を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 出来れば市から自治会へ車両を貸与。 • 行政と地域で費用分担。
3) <u>定路線型の交通（乗合タクシー）</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 決まった路線を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 小型の車両での運行。
4) <u>自転車の共同利用</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 出来れば市から自治会へ電動アシスト付き自転車を貸与。
5) <u>大手スーパー等による送迎バスの運行</u>	<ul style="list-style-type: none"> • 大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。 	-

この5つのメニューで、
検討を先に進めてOK？

内容は、この後の
グループワークで

(参考) 移送サービスについて

- あきる野市社会福祉協議会では「移送サービス」を行っています。
- 高齢者、障がい者などでタクシーを含む公共交通機関を利用することが困難な方を対象に、協力員が福祉車両で自宅から医療機関などへ送迎するサービスです。

(介護保険認定の有無や障がい者手帳の有無等とは関係ありませんが、いわゆる「元気な方」は利用できません)。

利用時間：午前9時から午後5時

利用料：800円（30分以上1時間未満）

1時間以上は30分につき400円。

グループワーク

それぞれの交通サービスには、どのようなメリットとデメリット（良い面と悪い面）がありますか？

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 1 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
1) <u>タクシー代の補助</u>	<ul style="list-style-type: none"> タクシー代を補助する。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的、<u>導入しやすい</u>。 	<ul style="list-style-type: none"> タクシーがないと、待ち時間が発生する。
		<ul style="list-style-type: none"> 対象者の規模により、経費が変わる。 ⇒基準をどのように考えますか？ 	
2) <u>住民主体の交通（近所同士の相乗り）</u>	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自主運行による交通手段を導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 比較的、<u>導入しやすい</u>（方法によってはすぐに導入できる）。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>安全性に懸念</u>。 運行の仕組みづくりが必要。

① 具体的なサービス内容について、ご意見をください。

② これ以外のメリット、デメリットを挙げてください。

交通サービス（候補）の主なメリット、デメリット 2 / 2

分類	サービス内容	メリット	デメリット
3) <u>定路線型の交通（乗合タクシー）</u>	<ul style="list-style-type: none"> 決まった路線を運行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 路線が決まっているので、<u>分かりやすい</u>。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> 運転手の確保等が流動的である。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 運行の仕組みづくりが必要。
4) <u>自転車の共同利用</u>	<ul style="list-style-type: none"> 地区のみんなが使える電動アシスト付き自転車などを導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> <u>比較的、導入しやすい</u>（方法によってはすぐに導入できる）。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理に課題がある。
5) <u>大手スーパー等による送迎バスの運行</u>	<ul style="list-style-type: none"> 大手スーパー等による無料の送迎バスの運行。 	<ul style="list-style-type: none"> 買物に行きやすくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 大手スーパー等との調整と、運行の仕組みづくりが必要。

次回予定

第4回（平成31年1月19日（土）午後7時～）
「地域の交通手段を考えよう」

内容（予定）・・・変更になる可能性があります。

○地区へのアンケート調査の結果報告

○素案の提示

- ・第3回までの内容と地区へのアンケート結果を踏まえてまとめたものをご説明する予定です。

○グループワーク

- ・素案を踏まえて、この地区の交通について地区の案としてまとめる予定です。

※この地区に（公共）交通を入れるにあたり、みなさまにご協力いただける部分があるのかどうか、お聞きする予定です。（考えておいていただけると幸いです）



(参考資料) ワークショップについての補足

1) ワークショップ開催の趣旨

2000年10月
(平成12年)

るのバス開業

2015年度
(平成27年度)

公共交通の利用に関する市民意識調査の実施

2016年度
(平成28年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討会議」を設置
⇒ 「あきる野市公共交通のあり方に関する提言書」

2017年度
(平成29年度)

「あきる野市公共交通のあり方検討報告書」
⇒ 優先的に公共交通対策を検討する必要がある地区を、市が「公共交通優先検討区域」と設定



〔深沢区域、引田・代継・網代区域、
草花折立下区域、東秋川橋西側区域〕

「引田・代継・網代区域」も該当

ワークショップを開催して、地区の交通の現状、課題、あり方などについて、地区のみなさまと一緒に考えていきます。

2) ワークショップを行う理由

- ① 地域の皆様が日ごろ交通手段をどうされているかは地域の皆様にお伺いするのが一番です。
- ② 様々な交通手段を考えるために、地域の皆様からご協力いただける部分があるのかどうかをお教えてください。
- ③ 公共交通対策などを進めるに当たり、市民の皆様と行政とで共通の認識を持つことが必要です。



そのため、この取り組みへ積極的な参加・ご協力をお願いします。

3) ワークショップの成果

ワークショップの成果（予定）

ワークショップ（第1回～第4回）



「新たな公共交通の導入は必要なのか」、
「必要な場合、どのような交通手段を入れるのがよいか」
ということについて、地区としての案をまとめます。



今後の取り組みを進めるうえでの検討材料として活用。

- 市が設定した4つの「公共交通優先検討区域」（深沢区域、引田・代継・網代区域、草花折立下区域、東秋川橋西側区域）での案を踏まえ、この4つの区域の内、優先的に対策が必要な区域がどこかを考えます。
- 来年度以降、実証実験の実施について検討します。